



カリオン

Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon



Vol.
41
2020.6

TOPIC

入学式 ～新入生宣誓～

令和2年4月7日(火)

暖かく柔らかな風に舞う桜とともに、本日この姫路赤十字看護専門学校の入学式を迎えることができたことを、嬉しく思います。この日を迎えた私たちの胸には、新しい環境への不安とともに、学校生活への期待と熱意が満ち溢れています。



本日より私たちは、本校の学生として規則を守り、学校長先生をはじめ、諸先生方のご指導の下、思いやりと実践力のある看護師を目指して精進していきます。新型コロナウイルスによる混乱が広がる今だからこそ、私たちができること、学ぶべきこと一つひとつに真摯に取り組み、クラスメイトと助け合いながら、ともに成長していきたいと思います。

最後になりましたが、本日、大変お忙しいところ、私たちのためにご出席いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。

私たち新入生一同、本校の学生としての自覚と誇りを持ち、実り多き学校生活を送ることを誓います。

(第122回生代表)

前期行事予定(令和2年4月～9月)

4月 7日(火) 第122回生入学式
10日(金) 新入生歓迎会(中止)
16日(木) 学校関係者評価会議(中止)

5月 12日(火) ナイチンゲール祭(中止)
18日(月) クラスⅠ 日本赤十字社兵庫支部訪問(中止)
27日(水) 保護者会、クラスⅠ・Ⅱ授業参観(中止)
31日(日) オープンキャンパス(中止)

4月～6月 クラスⅠ 基礎看護学実習Ⅰ(日程変更)

6月 1日(月)～16日(火) クラスⅡ 成人看護学実習Ⅰ(日程変更)
29日(月) 講師会議(中止)

7月 3日(金)～4日(土) クラスⅡ 本社研修・レクリエーション(中止)
25日(土)～8月26日(水) 全クラス夏季休業(日程変更)

8月 2日(日)・3日(月)・4日(火) オープンキャンパス
31日(月) クラスⅢ ケースレポート発表
クラスⅢ 授業参観

9月 14日(月)～25日(金) 前期期末試験

*新型コロナウイルス感染症予防対策に係る臨時休業:4月8日(水)～5月31日(日)
*5月14日(木)～ オンライン授業を導入しました。



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」「安楽」を第一とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。



令和元年度 卒業式



卒業証書授与

卒業式を終えて

令和元年度の卒業式が3月6日に厳かに行われました。今年は新型コロナウイルスの影響で来賓、保護者の参列はなく簡素化して行われました。救護服に身を包んだ瞬間、いよいよ卒業するという実感が湧き寂しく感じました。

3年間の学校生活では楽しい事ばかりではなく辛いことやしんどいこともたくさんありましたが、個性豊かなクラスIIIの仲間や先生方の支えのおかげで乗り切れました。これから看護師として働いていく中で、この学校で学んだことを忘れずに患者さんに関わっていきたいと思います。

(8階東病棟)



卒業証書授与



同窓会からのカトレア



凛とした卒業生たち



学校長式辞



送別の辞



答辞



在校生からの花束贈呈



「看護者の倫理綱領」唱和

第109回 看護師 国家試験 合格発表



教員からのおめでとうメッセージ



スマホで確認中



良かった！おめでとう！！



看護部の皆さんも喜んで下さいました！

令和2年3月19日(木)

毎年、学生全員が学校に集合して合格発表を迎えます。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の予防対策で、学生は自宅で合格発表を確認しました。今年は教務室内のパソコンがなかなか合格発表のページに繋がらなかった。発表時間から20分程して、スマホで確認することができました。小さな画面でしたが、アドバイザーで頭を突き合わせて全員の番号を確認することができた瞬間、教務室から歓声が沸き起こりました。

今年は卒業生の皆さんと一緒に合格発表を確認することができず、とても寂しかったですが、全員合格することができて、ホッと胸をなでおろしています。今年も、全員合格の感動をありがとう。

(クラスIIIアドバイザー：藤元 由起子)

看護師国家試験合格発表を終えて



国家試験に合格することができたのは先生方や友達が支えてくれたおかげです。先生方はわからないことがあったら親身になって一緒に考えてくださり、勉強だけでなく私の不安な気持ちを受け止めてくれたことは本当に私の心の支えとなりました。友達には勉強法を聞いたり問題を出し合ったりすることで少しずつ点数も取れるようになりました。これからは国家試験に向けて勉強したことを忘れずにより成長できるように頑張ります。

(7階東病棟 看護師)



国家試験の合格が分かった瞬間、私は涙が出るほど嬉しかったです。国家試験までの日々は合格できるのか不安でいっぱいでした。

しかし、真摯に向き合い勉強を教えて下さった先生方、一緒に勉強し、大丈夫！頑張ろ！と背中を押し傍で支えてくれた友達が居たから最後まで頑張ることが出来ました。

周りへの感謝の気持ちと気配りを大切に、今までたくさんの人から貰った支えを、今度は看護師として患者に提供出来るように頑張っていきたいと思います。

(IHI播磨病院 4階病棟)

退職者からのご挨拶

30年の歩みから

姫路赤十字看護専門学校を卒業後、姫路赤十字病院に40年勤務し、この3月末で退職致しました。90回生とともに看護専門学校に配属になり32年間を看護基礎教育に携わりました。

その当時は、病院は竜野町にあり、看護専門学校の校舎は敷地内のスカイラインと呼ぶ坂の上に建っていました。学校の隣に看護師寮と学生寮があり、全寮制で目の前に自宅があっても寮に入りました。寮生活も教育の一環で新入生は3年生と同室になり、掃除の方法など日常生活の指導を受けました。講義が休講になると数時間でも病棟に実習に行くこともありました。平成元年、8年、20年と3回カリキュラム改正もあり、平成7年より全寮制から通学制に変わり、男女共学となりました。平成13年には病院とともに現在の下手野に新築移転しました。学生と共に移転の準備をしたこともいい思い出です。

看護基礎教育も時代とともに変化してきました。とくに平成20年のカリキュラム改正では、教員全員でどんな学生を育てたいのか、教育方法について意見交換し、学生の体験を軸にした経験型の学習を取り入れようと試行錯誤してきました。リフレクションを教育のツールとし、自分で考えることができる実践力のある看護師を育てたいと、母院の協力がある恵まれた環境で、教職員全員で取り組んできました。3年間で大きく成長する看護学生と共に学ぶことは大変幸せなことでした。今まで関わっていただいた上司、同僚、多くの方々のおかげと感謝でいっぱいです。

副学校長に就任したのは、平成23年、東日本大震災の時でした。そして、今、新型コロナウイルスの感染拡大で世界が危機的状況に陥っています。

どんな状況でもそれを乗り越えることができると信じています。

私の好きな言葉です。『できるかできないか』ではなく『やるかやらないか』である。」

看護学生の皆さん、興味をもって楽しく学んで下さい。そして赤十字看護師として羽ばたいて下さい。応援しています。



前副学校長 柳 めぐみ



ホームカミングデー



調乳の演習



第47回フローレンス・ナイチンゲール記章授与式



戴帽を祝う会

長い間本当に
ありがとうございました。

退職者からのご挨拶

学生に贈ることば

この度、2020年3月31日をもって姫路赤十字病院を定年退職しました。1976年1月に看護師をしていた母に勧められ姫路赤十字看護専門学校を受験したのが赤十字との出会いでした。3年間の寮生活は、先輩後輩の縦の繋がりがりや同級生同士の横の繋がりをとても強く尊いものにしてくれました。1979年3月に卒業して当院に就職以来、41年間ずっと姫路赤十字病院でお世話になりました。

ここで、ちょっとだけ思い出にふけさせてください。私にも、看護学生の時代がありました。三年生の実習の時、泌尿器科の病棟である患者さんの受け持ちになりました。治療が終わって無事退院となり、その患者様に退院指導のパンフレットを手作りしてお渡ししたことがありました。その患者様のご家族と卒業して十数年がたったある日、病院の売店の前で偶然ばったりと出会いました。「あ〜、学生さん」と呼び止められ「えっ、学生？」と思ったのですが足を止めて振り返りますと思わず私も「あ〜、〇〇さん」と呼んでしまいました。するとその方が「いつまでも学生さんと違うよね。」と笑いながら少しの時間でしが立ち話をしました。「お世話になったおじいちゃんが退院してからあの時に頂いたパンフレットを「日常生活の先生や」と言って大事に、大事にしていました。翌年の春、看護師国家試験の合格発表の新聞記事にあなたの名前を見つけて「良かった良かった」と言ってるまで自分の事のように喜んでいました。その新聞記事を切り抜いてずっと見ていました。数年後に亡くなりましたが「このパンフレットは持たせてくれよ」と言っていたので棺の中に入れてやりました」と伝えて下さいました。沢山の患者様と出会いましたが忘れられない患者様のおひとりで。

私の看護師としてのスタートはNICUナースでした。そのNICUで関わった赤ちゃんが十数年経ったある日、学校の創立記念日でお休みだったのでお母さんとご家族のお見舞いに来て、たまたま私が病院のインフォメーションで看護相談に対応しているのを見かけて名札を見ると「三木」と書いてあったので声をかけてくれたそうです。大変小さく生まれたその子は、NICUで数か月に渡り、集中治療を受けて元気に退院した赤ちゃんでした。お母さんが、「あなたは、日赤のNICUで助けてもらったのよ。やっとの思いで保育器から出て、初めてミルクを飲ませてもらったのも、初めて沐浴してもらったのもすべてNICUの看護婦さんだった。受け持ちは、三木という看護婦さんだったよ。」と折に触れて話をして下さいました。びっくりです。わたしもお名前を聞いて「えっ、〇〇ちゃん」と思わず呼んでいました。その声に気が付いたお母さんが振り返って下さり、懐かしい再会を果たすことができました。看護師になってよかった、看護師冥利につきますと感じる瞬間です。

そして赤十字職員として忘れてはならないのが救護活動です。1995年1月17日阪神淡路大震災発災当日、災害救護体制も十分に整っていない中、救護班第1班の看護師長として初動しました。救急車両から黒煙が立ち昇る神戸の街が目飛び込んできた瞬間、想像を絶する思いを胸に24時間不眠不休で灘から東灘エリアを巡回し、東灘警察の一室や中学校の体育館に救護所を立ち上げ、瓦礫の下から助け出され戸板に乗せられて次から次へと運ばれてくる負傷者の救命救急処置に当たりました。この阪神淡路大震災の後、災害救護体制も徐々に整っていききました。その後の新潟地震・東日本大震災・熊本地震等々、また台風や洪水被害等

においては、救護班や病院支援者を送り出すという後方支援を経験しました。これらの救護活動の一つひとつは今もはっきりと脳裏に焼き付いています。

2007年4月1日に看護部長、そして2016年4月1日に副院長兼看護部長を拝命しました。2006年4月に7対1がスタートしましたが看護師不足で10対1でした。就職説明会に行っても誰も振り向いてくれないという苦い経験から看護部長として最優先課題は、看護師確保だと実感しました。そして看護管理課題を「看護職員の確保と離職率の低減対策」と「看護の専門性を発揮できる環境作り」とし、職務満足に繋がる体制を作ろうと考えました。また病院幹部の皆様にご指導ご鞭撻を頂きながら病院の管理運営に携わせて頂きました。4役会議において「チーム医療の推進」と「地域連携の充実」をどのように進め、診療機能の充実を図って行くかについて議論し、課題があればPDCAサイクルを回してシステム化が図れるように取り組んできました。そして病院の方針・目標を看護部門に周知徹底するために看護副部長や看護師長たちと「一枚岩、一枚岩」をモットーに切磋琢磨してまいりました。大変充実した13年でした。

また、院内だけでなく地域の医療関係の皆様、全国赤十字医療施設の皆様や看護協会の皆様等との出会いは、多くの示唆を得る機会となり色々な経験をさせて頂きました。すべて私の宝物になっています。感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、大切な後輩の皆様へ一言。医療・看護の世界は、超スピードで高度化、専門分化が進んでいます。臨床現場で求められる能力と自分自身の能力とのギャップを感じ、悩み、落ち込むことも沢山あると思いますが、決して自分だけが落ち込んでいるのではなく、あなたと同じように悩んでいる同僚もいますし、あなたたちの気持ちがよく分る身近な先輩もいます。辛い辛いと下ばかりを見ていないで、そんな時こそ頭を上げて、周りを見渡して下さい。助けてくれる支援の手がいっぱいあります。ひとりで抱え込まないように周りの人に相談すると身近なところにヒントがあることに気が付きますよ。困った時に周りの支援を受けることは決して恥ずかしいことではありません。目標を持って課題にチャレンジ。そして人として一回りも二回りも大きく成長し、細く長く看護師として仕事を続けていって下さい。応援しています。



姫路赤十字病院
前副院長兼看護部長 三木 幸代

※卒業を祝う会での講演がCOVID-19の影響で中止になり卒業生も残念がっておりましたので、カリオンで学生に贈ることばをつづっていただきました。

職員紹介



学校長兼副学校長
佐藤 四三



事務部長
安田 善彦



2列目 木本菜見子 森下裕子 神戸真由美 藤元由起子 小野真弓 中林朝香 松井里美
1列目 石谷尚美 山田道代 坂本佳代子 藤田美佐子 内海尚美
(教務主任) (副学校長職務代理)

校医の紹介



皆様はじめまして。学校医に就任しました中村です。医療従事者の基本は自分自身の健康です。これから看護師を目指す皆様もご自身の体調管理をしっかり行ってください。学校医として健康面をサポートしますのでいつでもお気軽にご相談下さい。

姫路赤十字病院 副院長兼第一内科部長
中村 進一郎



令和元年度

自己点検・

自己評価結果について

「赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン」に基づき、毎年学校評価を実施しています。本校では年に8回オープンキャンパスを実施しています。男性の参加が少ないため、8月に1回、男性対象の日を設定しました。男性看護師の看護体験を聴く機会を設け、男性看護係長と話をすることも取り入れました。保護者対象のブースを作り、事務に関する相談や就職相談にも対応しました。今後も学生募集活動の検討を行い、工夫していきます。

	令和元年度	平成30年度
1 教育理念・教育目的・教育目標	4.0	4.0
2 学校運営	4.0	4.0
3 教育活動	4.0	4.0
4 学修成果	4.0	4.0
5 学生支援	4.0	4.0
6 教育環境	4.0	4.0
7 学生の募集と受け入れ	4.0	4.0
8 財務	4.0	4.0
9 法令等の遵守	4.0	4.0
10 社会貢献・地域貢献	4.0	4.0
11 国際交流	4.0	4.0
平均	4.0	4.0

4段階評価 4:できている 3:まあまあできている 2:あまりできていない 1:できていない



令和元年度

保護者による姫路赤十字看護専門学校に関するアンケート結果より

教育を改善する目的で毎年保護者の方にアンケートをお願いしています。ご協力いただき、ありがとうございました。

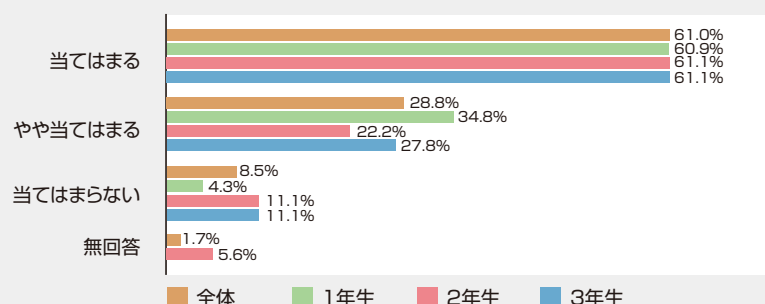
「学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携している」の質問について「当てはまる」61.0%、「やや当てはまる」28.8%、「当てはまらない」8.5%でした。

ほとんどの方が保護者との連携について適切であると感じられています。令和2年度、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため保護者会が中止となり、保護者の方々のご意見を伺う機会がありませんでした。個別懇談の予定は未定ですが、ご心配なことがあれば遠慮なくご相談ください。

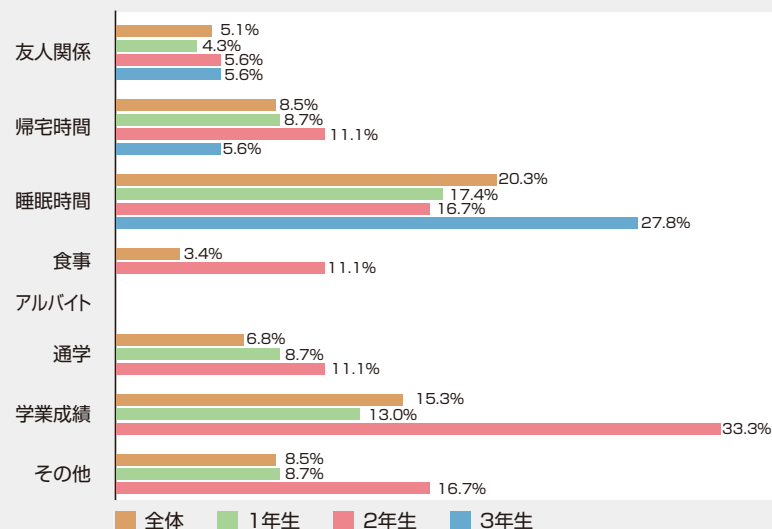
「学校生活で気になることはありますか」の質問については、睡眠時間、学業成績、などの項目が多くなっています。実習の準備や予習・復習・課題レポートなどの学習のために睡眠時間が少なくなっていると思われます。ご家庭での学習時間の確保のために、時間管理や集中できる環境が保たれるよう支援をしていただくことで、効果的な学習となり、睡眠時間の確保や学業成績の向上につながっていくと思います。また、友人関係についても気にされていました。人には言えない悩みを抱え、精神的に負担を感じるようになる学生もいます。本校では、設置医療施設の心の相談室でのカウンセリングを学生が利用することができます。ハラスメントに関する相談もできるよう環境を整えています。

今後とも、保護者の方のご意見をもとに、より良い学習環境を整えていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

「学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携している」



「学校生活で気になることはありますか」



新型コロナウイルス 感染予防対策

～手作りマスク作りを通して～



新型コロナウイルス感染症の影響で、マスクの品薄は深刻な問題でした。今どき、布マスク？効果はあるの？と布マスクに抵抗を感じていましたが、「咳エチケットなら布でもいいか」という考えに至り作り始めました。実際にマスク作りに取り掛ければ、生地、マスク紐、ミシン糸などすべての材料が品薄でした。教職員からの材料提供などを受け、装着感と見た目を重視し作成しました。我流のマスク作りでしたが、使ってくれる人を使い、素材や柄を考慮し、幼児・学童・成人用などレパートリーを増やし作りしました。世の中になんとなく閉塞感が漂いますが、こんな時こそ知恵と工夫で乗り切りたいです。

(専任教師：石谷 尚美)



令和2年度 姫路赤十字看護専門学校

オープンキャンパスのお知らせ

参加希望の方は、[ホームページ](#)よりお申込み下さい！ <http://himeji.jrc.or.jp/school/>

8月2日(日)

10:00～
14:00～

8月30日(日)

10:00～
14:00～

10月4日(日)

10:00～
14:00～

11月1日(日)

10:00～
14:00～

注意事項：COVID-19の拡大状況により、開催中止となる場合があります。ホームページにてお知らせします。

編集後記

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策で当校も臨時休校を余儀なくしました。そういった中でも、桜の花は満開に咲き誇り、私たちの生活に潤いを与えてくれました。

100年前に起こったスペインかぜは人口の3割を占める5億人が罹患し1年半続きました。そして、第1波、第2波、第3波を経て、世界恐慌へと突入しました。これから起こる最悪な状況を想定したうえで一人ひとりの脳を使い、過去の経験を智慧に変えて私たちができることは次のことです。①危機感のスイッチを入れる。②その上で最高の状況を想定する(ビジョンを描く)。③新しいことを学び新しいことに挑戦する。④フィードバックを受けて調整・修正・改善する(セルフフィードバック)。⑤先人・戦友(同じ目標に向けて進んでいる人)から外的刺激を受ける。⑥楽しくなるような環境と仕組みを作る。⑦①に戻る。というサイクルを回して逆境こそチャンス、今できる改善を図りながら一日も早い収束を祈ります。

(副学校長職務代理：坂本 佳代子)



夢前川サイクリングロードから